

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※4
北海道	はまとなべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	カモ類 5万羽 〈9月中旬～4月下旬〉 ハクチョウ類 5千羽 〈10月中旬～4月下旬〉	カモ類 4,152羽、 オジロヅク 2羽	※主に渡去の中継地 カモ類の渡りは終盤。スズガモはの姿は見られなくなった。11/13よりコハクチョウが再び増加。 (11/16現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 (美瑛市)	マガン 約5～6万羽 〈秋期9月下旬～10月下旬、春期4月〉 他にオマガモ等カモ類、 コハクチョウ等ハクチョウ類	カワアイ 112羽、マガモ 95羽、 ミコアイ 50羽、カマガモ 6羽、 キンクロハジロ 4羽、	※主に渡去の中継地 マガモ・アイ類はほぼ南下。 渡りもほぼ終了。 (11/15現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈10月上旬～4月下旬〉 ガン・カモ類 〈9月中旬～4月上旬〉 オオヅク、オジロヅク	ガン・カモ類 1,924羽、 ヅク・カモ類 3羽	※主に渡去の中継地 カモ類の飛来数、最大2,000羽確認。ハクチョウ、ガン・カモの渡り中継地として日々飛来数に変更。オオハクチョウ飛来数、最大100羽確認。 (11/16現在)	
青森	こみなと 小湊 (東津軽郡)	オオハクチョウ、オマガモ、 キンクロハジロ、ユリカモ	オマガモ 500羽、 オオハクチョウ 26羽	10月上旬よりオマガモが飛来。10月下旬よりオオハクチョウが飛来。(11/18現在)	東北
秋田県	大潟草原 (大潟村、男鹿市)	コマガモ、マガモ等カモ類 コハクチョウ等ハクチョウ類 ヒシクイ、マガン 〈10月下旬～3月下旬〉	コマガモ 13,000羽、 ヒシクイ 400羽、 コハクチョウ 130羽、 マガモ 120羽	9/16よりコマガモ、マガモが飛来。10/16よりマガン、ヒシクイが飛来。10/24よりハクチョウ類が飛来。(11/20現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3万羽 〈9月下旬～3月〉	ガン・カモ・ハクチョウ類 2,800羽	現在越冬中。 (11/15現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オマガモ 2万羽、 ホシハジロ 2千羽、 キンクロハジロ 2千羽、 オオハクチョウ 5千羽、 コハクチョウ 3千羽、 〈10月中旬～4月中旬〉	オマガモ 19,000羽、 オオハクチョウ 4,500羽、 コハクチョウ 2,100羽、 カモ類 2,000羽	9/23よりオオハクチョウ数羽が飛来。10/11よりハクチョウ個体群が飛来。飛来するハクチョウとのふれあいの場、スワンパークが開設。 (11/20現在)	
千葉県	谷津 (習志野市)	カモ類 4千羽 〈10月中旬～4月下旬〉 シギ・チドリ 2千羽 〈8月上旬～5月中旬〉	ガン・カモ類 456羽、 シギ・チドリ類 1,021羽、 カモ類 10羽	シギ類の渡りはほぼ終了 (ハマシギを除く)。カモ類は例年より少なめだった。 (11/11現在)	関東

新潟県	さかた 佐潟 (新潟市)	マガモ、コガモ等カモ類 5千羽 <10月上旬～3月下旬> コハクチョウ、オハクチョウ等 3千羽 <11月上旬～2月下旬>	ハクチョウ類 3,473羽、 マガモ 3,000羽、 コガモ 2,000羽、 その他カモ類 500羽	ハクチョウ類の飛来数が増加。 カモ類も増加。アメリカヒトリが 僅かに確認。(11/16現在)	
石川県	かたの かもしけ 片野鴨池 (加賀市)	ガン・カモ類 3千羽 <9月上旬～4月中旬> コハクチョウ 4百羽 <10月中旬～3月下旬>	カモ類 1,500羽、 マガン 2,000羽、 コハクチョウ 400羽、 ヒシキ 74羽	9月中旬より飛来開始。 暖かいためか、オハクチョウの 数が多い。(11/17現在)	中部
愛知県	ふじまえひがた 藤前干潟 (名古屋市)	カモ類 3千羽 <9月下旬～5月初旬> シギ・チドリ類 <8月初旬～5月中旬>	スズガモ 8,500羽、 オハクチョウ 1,000羽、 ハマシギ 1,668羽、 コガモ 500羽	スズガモは日中も8,000～ 9,000羽記録。ハマシギの飛 来は例年より少ない。 (11/20現在)	
兵庫県	はまこうしえん 浜甲子園 (西宮市)	カモ類 <9月中旬～4月下旬> シギ・チドリ類 <4月中旬～5月下旬> カモ類 <4月中旬～5月下旬>	ガン・カモ類 2,293羽、 カモ類 95羽	渡り移動中。 (11/18現在)	近畿
鳥取県 ・ 島根県	なかうみ 中海 (米子市、境港 市、安来市、 松江市)	カモ類 5万羽 <10月上旬～4月末>	ガン・カモ類 20,893羽、	渡りのピーク。 (11/16現在)	中国・四国
島根県	しんじこ 宍道湖 (松江市、斐川町)	コハクチョウ 9百羽 マガン 3千羽 カモ類 5万羽 <10月～5月>	カモ類 30,000羽、 マガン 1,100羽、 コハクチョウ 60羽	カモ類は玉造温泉の湖面上 に多数の群れがいる。マガン は斐伊川河口周辺の水田 と河口砂州で確認。ハベ ヅルが混じっている。コハ クチョウは激減。(11/19現在)	
福岡県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等カモ類、 ハマシギ等シギ類 1,000～ 1,500羽<10月下旬～3 月下旬>	カモ類 250羽、 ダイシャクシギ 3羽	異常なし。(11/19現在)	九州
鹿児島県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ハベヅル、マヅル等ツル類 <10月～3月> ヒドリガモ、マガモ等カモ類 <10月～3月>	ツル類 10,322羽、 カモ類 5,200羽	異常なし。(11/17現在)	
宮崎県	きりしま 霧島 (都城市、高原 町)	マガモ等カモ類 <10月～4月>	マガモ 550羽、 ヒドリガモ 50羽、 カルガモ 40羽	異常なし。(11/17現在)	

沖 縄 県	まんこ 漫湖 (那覇市、豊見城市)	ムナヅク、アカアシヅク等のヅク ・チドリ類、カモ類 〈冬期間〉	ヅク類 105羽、 サギ類 24羽、 チドリ類 52羽	渡来中。(11/13現在)	那 覇
-------------	-------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------	--------

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況をとりとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。